

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016 年度（前期）指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」  
完了報告書

【テーマ】

- 第 1 回 「あおいけあ流 あたらしい認知症ケア～最後まで地域で暮らす～」
- 第 2 回 「高齢社会を幸齢社会へ」

申請者：石橋了知

所属機関：藤野在宅緩和ケアクリニック みどり北をつなぐ会

提出年月日：2017 年 9 月 25 日

<開催概要>

神奈川県相模原市緑区の北部にて、在宅ケアに関わる医療・介護従事者、およびボランティアの方々を対象とした勉強会を2回に渡り開催した。

【第1回の研修会の様子】

日時：2017年6月11日（日）13：00～16：30

場所：相模湖交流センター（神奈川県相模原市）

プログラム：

<講演会> 「あおいけあ流 あたらしい認知症ケア『最期まで地域で暮らす』

加藤忠相氏（株式会社あおいけあ代表）

<シンポジウム> 「わたしたちが考える地域包括ケア～藤野の取り組み～」

野元好美氏（相模原市議会 議員）

宮内知子氏（小規模多機能型居宅介護『すずかけの家』）

綱田富士恵氏（生活介護事業所『ふじのタンポポ』代表）

志水祥介氏（駒木野病院 内科医長 高齢者センター副センター長）

参加総数：85名（医師5名、看護職15名、介護職45名、その他関係者20名）

※職種別参加者数は当日若干変更の可能性あり

<告知用チラシ>

地域包括ケア推進のための  
多職種連携勉強会  
**あおいけあ流 あたらしい認知症ケア**  
「最後まで地域で暮らす」

「お年寄り  
地域の社会資源です」  
かとうただすけ Profile  
1974年生まれ、東北福祉大学社会福祉学部社会教育専攻卒業後、福祉の特別養護老人ホームへ就職。高齢者を支配・管理する介護現場の素晴らしさにショックを受け、3年間勤めた後退職。26歳で起業し、株式会社あおいけあを設立。2007年より小規模多機能型居宅介護「おたがいさん」をスタート。2012年「第一回かながわ福祉カーど大会」受賞。高齢者の能力を地域貢献に活かすケアは「藤沢モデル」として注目を集め、湘南を中心に取組みが拡大している。慶應義塾大学非常勤講師、NPO法人ココロぽろぽろ理事としても活動中。2016年NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」に出演。

介護の概念を超えた  
コミュニティ・デザインの  
伝道師が熱く語る！  
講師：加藤忠相氏  
(株式会社 あおいけあ代表)

無料  
100名  
要予約

6月11日(日) 13:30～16:30 (13:00開場)  
会場：相模湖交流センター アートギャラリー  
JR相模原駅より徒歩10分 駐車場有(有料)  
〒252-0171 神奈川県相模原市緑区与瀬259-1

シンポジウム  
「わたしたちが考える地域包括ケア～藤野の取り組み～」

13:00 開場  
13:30 開演のごあいさつ 石橋了知  
(藤野在宅緩和ケアクリニック 院長)  
13:45～15:00 加藤忠相氏のお話  
15:15～16:30 シンポジウム・質疑応答  
16:30～17:30 懇親会  
(要予約・参加費1,000円)

野元好美氏  
相模原市議会  
議員

宮内知子氏  
小規模多機能型  
居宅介護事業所  
「すずかけの家」  
代表

綱田富士恵氏  
生活介護事業所  
「ふじのタンポポ」  
代表

志水祥介氏  
駒木野病院 内科医長  
高齢者センター  
副センター長

【主催】介護/医療の多職種連携の会「みどり北をつなぐ会」  
【後援】「藤野支え合う会」

お申込みは  
WEBで  
<http://kokucheese.com/event/index/463334/mail>  
【申込締切】6月7日(水) 定員に達し次第締め切ります。お申込みはお早めにお願います

お問い合わせ  
fujinosasaekukai@gmail.com

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

<当日の様子>



写真左：開会のあいさつ（石橋了知 藤野在宅緩和ケアクリニック院長）

写真右：熱心に耳を傾ける参加者たち



運営する小規模多機能事業所における実例を紹介する加藤忠相氏。

サービス提供者側の都合ではなく、利用者ひとりひとりの人生に寄り添った支援の在り方は参加者から多くの共感を得た。



写真左：後半のシンポジウムでは、地域で長年に渡り福祉事業に携わって来たゲストを交えてディスカッション。高齢者や障害者がともにこの地域で暮らし続けるために必要な支援の在り方、そして人々の意識変容の大切さについて語った。

写真右：勉強会後の懇親会の様子。様々な職種やボランティアスタッフが参加。

【第2回の研修会の様子】

日時：2017年8月26日（土）12:30～16:40

場所：相模湖交流センター（神奈川県相模原市）

プログラム：「高齢社会を幸齢社会へ」

<講演1> 「介護は快互～友の会活動から学んだこと～」

下山名月氏（生活とリハビリ研究所 研究員/つくい言語友の会 代表）

<講演2> 「生きていて良かった～人生にありがとうと思える社会を目指して～」

小澤竹俊氏（めぐみ在宅クリニック院長/一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会）

<特別講演> 「じいちゃん、ちゃんと死ねて良かったね」

田辺鶴瑛氏（講師）

参加総数：105名（医師6名、看護職20名、介護職45名、その他関係者34名）

※職種別参加者数は当日若干変更の可能性あり

<告知用チラシ>

地域包括ケア推進のための多職種連携勉強会 第2弾

## 高齢社会を幸齢社会へ

在宅医療・在宅介護のプロに学ぶ！笑いあり！涙あり！の講演会

**講演1** 「介護は快互～友の会活動から学んだこと～」

しもやま なつき  
生活とリハビリ研究所・研究員/つくい言語リハビリ友の会・代表  
神奈川県相模原市在住の介護指導のスペシャリスト。「当たり前の生活を支える自立支援」を提唱。介護する人・される人の現場に即した実践的な介護習学に定評があり大きな影響を与えている。講演や著書多数。

下山名月氏

**講演2** 「生きていて良かった～人生にありがとうと思える社会を目指して～」

おざわ たけし  
めぐみ在宅クリニック院長/一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会 理事  
横浜市で訪問診療医として、がんや神経難病など多くの疾患に対応。患者と家族の心に向き合ったチームケアを推進中。2017年3月NHKプロフェッショナル～仕事の流儀～に登場。講演や著書多数。

小澤竹俊氏

特別企画！  
介護講演

田辺鶴瑛氏

「じいちゃん、ちゃんと死ねて良かったね」

たなべ かくえい  
函館市出身の講師。認知症義父を在宅介護、在宅看取りした経験を活かしたオリジナル講演が好評を博す。

無料  
100名  
要予約

8月26日（土）  
12:30～16:40（12:00開場）

会場：相模湖交流センター アートギャラリー  
JR相模湖駅より徒歩10分 駐車場有（有料）  
〒252-0171 神奈川県相模原市緑区与瀬259-1

12:00 開場  
12:30 開演のごあいさつ  
12:40～14:00 下山名月氏講演  
（座長：尾崎万寿子/JA訪問看護STつくい）  
14:10～15:10 田辺鶴瑛氏講演  
15:20～16:40 小澤竹俊氏講演  
（座長：石橋了知/藤野在宅緩和ケアクリニック）  
17:00～17:30 懇親会（要予約・参加費1,000円）

【主催】介護/医療の多職種連携の会「みどり北をつなぐ会」  
【後援】藤野地区社会福祉協議会、藤野支え合う会

お申込みは  
WEBまたは  
メールで

http://kokucheese.com/event/index/471848/  
midorikita@hirose-hospital.com <氏名(ふりがな)・人数・所属・懇親会の出席を明記>  
【申込締切】8月23日（水）定員に達し次第締め切ります。お申込みはお早めをお願いします

お問い合わせ  
fujinosasaeaukai@gmail.com

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています



写真左：開会のあいさつ（土肥直樹 内郷診療所院長）

写真右：第1回が好評だったこともあり100名を超える参加者が集まった



下山名月氏。老人病院の介護現場での経験から、自分が理想とする介護を探求してきたこれまでの活動を紹介。人が人らしくあるためには良い人間関係と良い環境が必要であること、「ともにある」というボランティアの姿勢等を教えて頂きました。



写真左：座長は尾嶋万寿子氏（JA訪問看護ステーションつくい）

写真右：二つの講演の間に特別企画として介護講談を。認知症の義父を在宅看取りした体験をオリジナル講談で披露して下さった田辺鶴英氏。笑いあり涙ありで開場は拍手



写真左：小澤竹俊氏。苦しんでいる人への援助的コミュニケーションなどを実践的な方法論で紹介。本人と家族が穏やかであることを目標にした支援の在り方を学ばせていただきました。

写真右：座長の石橋了知（藤野在宅緩和ケアクリニック 院長）

#### <感想>

今回の勉強会には、多忙な中多くの医療介護従事者の仲間たちが参加してくれました。素晴らしい講師の人々を迎え、日々の業務に追われがちな関係者が共にあつまり、足を止め、自分達の仕事の原点を見つめ直す好機となりました。第1回、第2回とも参加者からの評価が高く、次回の開催を望む声も多数いただいています。「地域包括ケア」は国から与えられるモデルではなく、自分たちが一市民として創り上げていくものというビジョンがこの地域で共有できたことを嬉しく思います。引き続き、「みどり北とつなぐ会」として在宅医療を共に推進していく活力をいただきました。また今回の勉強会を通じ、事業所や職種を越えた信頼関係がまた一歩深まったように思えます。

この研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成により開催いたしました。心より感謝申し上げます。